

宥学会・遊学塾

# 知りたい!セルビアのアートと文化

講師:吉岡まさみ ゲスト:セルビア大使館文化担当

かつてのユーゴスラビア連邦共和国に属した地域の中央に位置し、  
政治的にもその中心となる国であったセルビア共和国。  
今も紛争と無縁でないこの国にも現代美術は息づいています。  
ラキア酒を味わいながら彼の国の文化を感じる一夜です。

日時:10月14日(金)19:00~ 場所:美学校

千代田区神田神保町 2-20 第二富士ビル3F

参加費:1500円

申込み:不要です。美学校に直接お越しください。

問合せ先:宥学会 [yugakukai@mbr.nifty.com](mailto:yugakukai@mbr.nifty.com)

[これまでの講義・討議・イベント]

2013年

- 1月「松澤芸術と詩の位置」渡辺 彰
- 2月「なぜアートはヲタ文化に依存するのか」アライ=ヒロユキ
- 3月「ソーシャルに潜む同調性。ポリティカルが果たすべきこと  
アライ=ヒロユキ
- 4月「批評性の消失。情報と効率に呑み込まれる生」アライ=ヒロユキ
- 5月「討議:改めて問う芸術/美術」進行・窪寺雄二
- 6月「私たちにとって描画とは何だったのか」米谷栄一
- 7月「映画談議」渡辺 彰
- 10月「松澤宥選詩集刊行記念イベント<朗読と講演>  
朗読・宥学会/講演・宗田光一
- 11月「暮らしから生まれる抵抗・表現・共生 ~ニューイングランド探訪」アライ=ヒロユキ
- 12月「ギャラリーとつき合う」吉岡まさみ

2014年

- 1月「松澤宥全詩閲覧」中ザワヒデキ
- 2月「12年前の松澤宥を映像で見る」黒田典子
- 5月「日本近代美術史の最前線」足立 元
- 6月「アートが隠蔽/忌避してきたアート ~天皇アート論」アライ=ヒロユキ
- 7月「オブジェ概念をめぐる——松澤宥の仕事から考える」土屋誠一
- 8月「松澤宥をめぐるフリートーク」進行・窪寺雄二
- 11月「松澤宥をいかに葬るか——中ザワヒデキ『松澤宥論』をテキストに」渡辺 彰
- 12月「松澤宥その可能性の中心——松澤宥をいかに葬るかII」渡辺 彰

2015年

- 2月「私にとっての60年代美術」細谷修平(関手・中西レモン)
- 3月『Ψ(プサイ)』上映会  
<黒田典子作品>
- 5月「ボードリヤールのいう消滅 あるいは私に今何よりも詩である彼の言葉について」渡辺 彰
- 6月「歴史による無名化考」画廊探査+トーク:中西レモンとの対話
- 7月「詩作品にみる戦後70年」渡辺 彰
- 9月「何度も読む中井正一」土屋誠一
- 11月「松澤宥を語る会(於諏訪)報告」窪寺雄二
- 12月「遅ればせながらChim↑Pomと向き合う」渡辺 彰

2016年

- 2月「1971松澤宥東欧記 ~長女による写真と逸話」松澤久美子
- 3月「talks about 新方法」新方法メンバー
- 5月「雑誌『ムー』から読み解く松澤宥」米谷栄一
- 6月「芸術弾圧誌『メインストリーム』紹介と宣伝」山本桜子/東野大地
- 7月「稀代のカリスト松澤宥」長沼宏昌

吉岡まさみ/国内外で作品を発表する美術家。

銀座4丁目の画廊「Steps Gallery」の経営者でもあり、セルビアの作家を取り上げることも少なくない。